



令和6年度 広川町立南広学校 スクールプラン

広川町学校教育目標

- 一人ひとりを生かし大切に
- 自ら学び自ら考える力を育てる
- 郷土の自然や文化、人々とのふれあいを深める
- 豊かな心を育てたくましく鍛える

保護者・地域の願い

- 確かな学力を身につけ、進んで学習する子供に育ってほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 人に優しく思いやりのある子供に育ってほしい
- ふるさと南広に誇りを持ち、南広を愛する子供を育ててほしい

【学校教育目標】
 自ら生き生きと活動できる
 心豊かでたくましい子供を育てる

【めざす児童像】

- ◎自らよく考えて、進んで行動できる子（かんがえる子）
- ◎思いやりがあり、明るく協力的で心豊かな子（やさしい子）
- ◎健康でねばり強く頑張りのきく子（がんばる子）
- ◎地域に誇りを持ち、地域を愛する子（みなみひろの子）

前年度の学校評価

- 子供は楽しく学校に行っている
- 地域と連携した取組が充実している
- 学力向上のため、ICT機器を活用し授業改善を図っていく
- 学校の雰囲気良く、子供たちは活気がある

児童の実態

- 明るく素直で、真面目に取り組む
- 基礎的な学力は定着している
- 学年に関係なく仲良く遊ぶ
- 自分に自信がなく自尊感情が低い
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎ICTを活用した授業の推進
- ◎読書活動の推進
- ◎家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎一人一人の自己肯定感や自信を高め、認め合う温かい学級集団をつくる。

健やかな身体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎安全・防災教育の充実

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- ◎地域の資源活用の推進

具体的な取組

- どの子ども「かかわる・できる・わかる」を保障し児童が学習意欲を高め主体的に学ぶ授業実践を進める。
- 子ども同士がつながる場の工夫。
- 一人一台タブレットを活用してICT教育の推進を図る。
- 朝読書や授業での図書館利用、図書館司書による支援等により、児童の読書活動を活性化する。
- 発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る。

- 命の大切さ、思いやりの心を育む道徳教育や人権教育を充実させる。
- 道徳実践の場(磨き場)を授業や日常の教育活動に意図的に設定する。
- いじめアンケートを年間3回実施しいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 特別支援教育の視点を持って、個に応じた支援を実践する。
- 委員会、クラブ活動、縦割り班活動、地区児童会、学級会等で、子供同士が関わる機会を増やす。

- 体育科の指導方法や指導形態の工夫を進め、活動時間を確保する。
- 目標を持って取り組む体育的行事を充実させる。
- 生活・学習アンケートを年間2回実施し、基本的生活習慣の定着を推進すると共に児童の実態把握に努める
- 地震や津波、火事等に関する避難訓練や交通安全教育、不審者対応指導の充実により、危機回避能力を向上させる。

- 地域や家庭との連携により、安全・安心な教育環境作りに努める。
- ホームページ(ブログ)、メール、学校通信、学級通信等で積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等も積極的に公開する。
- 保幼小の接続、小学校同士、小中の連携を推進・充実する。
- 地域資源(人材)を活用しながら、地域の自然や農業・人・文化等に触れる体験活動を実施し、地域に対する親しみや愛着を培う。

指標

- ・学力調査の正答率が平均を上回る
- ・授業がよくわかる(児童・保護者90%)
- ・読書冊数40冊以上(児童90%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童95%)
- ・自分には良いところがある(児童90%)
- ・いじめの解消率(100%)

- ・早寝早起き朝ご飯の定着(児童90%)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した(教師90%)

- ・学校の様子がよくわかる(保護者90%)
- ・すべての学年で、地域と関わる学習活動を計画的に実施する。(教師100%)

保護者・地域とともに磨きあげてきた伝統・校風

ふるさと学習や地域行事を通して育まれる
郷土への思い・愛着と誇りを土台にした教育

◎：特に重点的に取り組むこと